



明海大学不動産学部

# NEWSLETTER



## 不動産学部・保証人各位

後学期までの学修状況報告に併せて、不動産学部から今後の学修を進める上で重要な情報をお伝えします。なお、このお知らせは保証人様にお送りしています。在学生に対してのお知らせは、担任教員、学修支援システム manaba、不動産学部 HP 等を通じて連絡致しておりますが、保証人様からも一言お伝え頂けると幸いです。

### オリエンテーション

新2年生：3月28日（火）

新3年生：3月24日（金）

新4年生：3月27日（月）

### 履修登録期間

3月28日（火）～4月2日（日）

## 不動産学部長からのご挨拶



不動産学部長 中城康彦

国際的には領土を巡る戦争や紛争があり、国内的には所得の伸び悩み

に伴う住宅確保の問題が大きくなっています。世界の平和も国民生活の安寧も不動産と密接にかかわっていると改めて感じます。グローバル化が進む中で大流行した新型コロナウイルス感染症の影響も甚大でした。日々の平和や健康な暮らしは必ずしも保証されないことを実感し、改めて持続可能な社会の大切さを認識しました。今まで以上に予測困難な時代を生きる力が求められることを踏まえ、建学の精神が示す、社会性、創造性、合理性を身につけ、国際未来社会で活躍する学生の育成に努めます。

2020年以降の3年間は感染防止や健康保持のための活動自粛により、学生間の切磋琢磨や社会との接点など、刺激を受ける機会が制約されました。“静かに授業を受けて帰る”習性がついた学生も見かけますが、大学では社会参加やインターンシップなど社会を意識した活動も重要です。AI(人工知能)が急速に進歩し、社会はAIが出せない解を提案できる人材を求めます。座して学ぶに留まらず、活動を通して自分だけの結論を示せる人を目指して、積極的に行動してください。

## 保証人の皆様とのコミュニケーション

不動産学部では、保証人の皆様とのコミュニケーションの機会を大事にしています。

### ●保証人向けオリエンテーション

4月4日（火）に、在校生保証人のためのオリエンテーションを予定しています。詳細は不動産学部 HP からお知らせいたします。

### ●教育講演会主催の教育懇談会

浦安キャンパス、札幌から那覇の各地で教育懇談会を開催し個別面談を実施しています。

### ●学部長からのお手紙

学修の節目に、学部長からお手紙をお送りする場合があります。届いた際はよくお読みいただき学業やキャンパス生活の状況をご理解下さい。

## 4年間の学修成果の講評会・発表会が行われました

4年間の学修成果の総仕上げの科目として「不動産学卒業演習（必修）」と「卒業論文（選択）」が設けられています。不動産学卒業演習では、具体的な物件を題材とし、不動産学の広範な学修領域をふまえ重要事項説明、住宅ローン、間取り図等複数の側面から事例情報を収集整理し、冊子としてまとめました。講評会では学生自身の工夫について紹介してもらいました。「卒業論文」は、各自が課題を設定し、その解決にむけた調査提案を行い、論文または設計提案としてまとめるものです。発表会では、学生の発表に対して活発な質疑応答が行われました。



左上：卒業演習講評会 右：卒業演習成果物  
左下：卒業論文発表会

学部に関する情報が [明海大学不動産学部ホームページ](#)（大幅リニューアルしました！）  
不動産学部Instagramに掲載されています。ぜひご覧ください。



## 宅地建物取引士試験に合格するために

### ■1/3の学生は在学中に合格です

2022年の不動産学部生の宅建合格者は62名でした。コロナで対面指導が全くできなかった2020年を除けば、ここ数年は60名以上が合格しています(2021年64名。2019年71名)。入学定員が180名ですから、3人に1人は4年間の在学中に合格していることになります。

### ■合格の秘訣は「あきらめない」「言い訳しない」

来年度、宅建未合格の2年生は不動産演習Cを履修し合格をめざします。3、4年生にも、学内模試、オープンカレッジや、夏季特別講座など、合格を勝ち取るためのメニューが数多く用意されています。しっかり活用すれば在学中に合格できます。

一人でも多くの学生を合格に導くべく、教員一同、全力を尽くします。保証人の皆様からも、「あきらめない」「言い訳しない」の精神で勉学に取り組むべく、学生を励まして頂ければ幸いです。

## 海外研修が再開

海外との移動制限緩和を受け、海外研修が再開されることになりました。2022年度は新たな研修地としてハワイを訪問予定です。2023年度の研修についてはオリエンテーションでご案内いたします。

## 退職のご挨拶 小川清一郎教授

2023年3月をもって不動産学部を退職致します。不動産学部創設の翌年の1993年から30年の長きにわたり、不動産学部にお世話になりました。30年といっても今から思うとアツという間です。物権法を担当していますが、最初は講義にも不慣れで、大人数教室で大変でした。できたばかりの学部で工学、経済学、法学と分野の違う先生との交流は大変刺激的で、学生のみなさんと同様に日々が発見の連続でした。1999年にケンブリッジ大学の客員研究員として在外研究の機会を与えられ、かの地で過ごしましたが、英国のことはもとより、日本を様々な意味で考えさせられました。その後、何度か学生の英国研修の引率の機会を頂き、さらに英国を深く知ることになりました。

不動産学部も最近は少人数クラスが多く、初期の苦労がうそのようです。さらに学生さんは皆さん真面目になりました。よいことですが、少し覇気がない人が多いのが気がかりです。学生のみなさん、保護者のみなさんのご健勝と不動産学部の更なる発展を祈念しております。



2003年9月ケンブリッジ研修  
の一コマ



2023年1月最終講義の後  
で

## 就職・インターンシップ関係のお知らせ

就職支援委員会では、例年インターンシップ派遣(春季と夏季の2回:主に1、2年生対象)、就職合同ゼミの開催(春、夏、冬に各1回)、合同企業説明会(不動産学部主催)、不動産学部学生向け就職ガイドブックの配布(11月に配布:3年生対象)を実施しています。さらに、(株)LIXILリアルティとの連携により最新の業界情報を得られるよう努めています。また、キャリアサポートセンターと連携

し、専門的知見を持つ「就活コーチ」による個別指導も実施され好評を得ています。学部同窓会(緑風会)も就職支援を積極的にバックアップしています。なお、宅建試験に合格している学生の内定率はほぼ100%で、3年生までの間に宅建を取得することは内定獲得に大変有利に働きます。就職支援担当教員も、一人でも多くの内定獲得に貢献できるよう、最大限の対応を行っています。なお、新型コロナウイルスの関係で、しばらくインターンシップは中断していましたが、本年度より各事業者への学生の派遣を従来通り再開しています。多くの学生の参加をお待ちしています。(インターンシップ担当教員:小松広明)



インターンシップ報告会の模様

## ○新4年生の保護者の方へ

不動産業界の就活は、今がヤマ場です。大学主催の企業合同説明会等の行事に積極的に参加するよう学生にご指導下さい。4、5月時点で内定獲得が難しい状況であれば、不動産学部の就職支援担当教員に遠慮なく相談するようご指導下さい。また、保護者様からのご相談も歓迎します。(就職支援担当教員:藤木亮介、山本卓)